



2021年9月30日

各 位

会社名 株式会社イントランス
代表者名 代表取締役社長
 ディグネジオ・フレドリック・レッツ
(コード番号 3237 東証マザーズ)
問合せ先 管理部部長 北川 雅章
(TEL 03-6803-8100)

(開示事項の経過) 横丁事業不動産の売却と棚卸資産評価損の計上に関するお知らせ

当社は、2019年4月にフード関連施設(横丁事業)の開発用地として取得した、北海道旭川市の不動産について、本日、売買契約を締結し、売却に伴う損失について、評価損(売上原価)を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 売却の理由

当該不動産における横丁事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から運営再開の目途がたたず、今後の物件の維持、管理に係るコスト、近隣エリアにおける事業の収益性等を慎重に検討した結果、現状有姿での売却を決定いたしました。

2. 売買不動産の概要

所在地：北海道旭川市
敷地面積：535.52㎡(162.00坪)
延床面積：1,068.52㎡(323.23坪)

3. 売却日程

売買契約締結日：2021年9月30日
決済・引渡：2021年10月下旬(予定)

4. 売却先及び取引の概要及び棚卸評価損の計上

売却先との取り決めにより、取引内容についての公表は控えさせていただきますが、当該売買契約による売上高は、直前連結会計年度(2021年3月期)における連結売上高の10%未満の金額であり、損益面については、直近5年間の親会社株主に帰属する当期純利益の額の平均の30%に相当する額以上の損失であります。本物件の決済、引渡は10月下旬であり、売上高の計上は2022年3月期第3四半期を予定しておりますが、当該取引による損失が確定したことから、2022年3月期第2四半期において、売上原価に棚卸資産評価損48百万円を計上することといたしました。

なお、当社と売却先の間には、資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。

5. 業績に与える影響

当該不動産の売却及び評価損の計上により、公表している2022年3月期通期連結業績予想の変更はありません。

以上